

宇治茶の世界文化遺産を目指すために
～10年後を見据え、当面3年間の戦略を考える～

第1回プラットフォームの概要

宇治茶の価値

つくる価値

- ①生業の上に成り立つ美しい茶畑景観が維持されていること
- ②生業の上に流通、文化や保全がされていること
- ③競争の上に立つ職人芸の茶業生産技術が維持されていること
- ④京都独特の品種、覆下の栽培技術で生産されていること

つなぐ・つたえる価値

- ① 抹茶・玉露・煎茶などTPOにあったおもてなしのできること
- ②日本茶のルーツであり、ほんまものの魅力があること。
- ③宇治茶は歴史・文化があること
- ④生産者と茶商の両方がいること(生産技術と加工技術の文化)

味わう・楽しむ価値

- ① 抹茶・玉露・煎茶などTPOにあったおもてなしのできること【再掲】
- ②ブレンド・温度など自分で操れる楽しみがあること
- ③ 美味しい・体にいい・かっこいい・飲んで楽しいこと
- ④茶摘み体験など身近にお茶を楽しむ現場がそこにあること
- ⑤日本緑茶茶発祥の宇治茶にふれること

価値を上げるために

- ①後継者を育てること。儲かる経営にすること。
- ②地域の特性を大切にすること。
- ③開発者に光を当てること。技術伝承すること。
- ④品種開発・選抜をしっかりとる。改植に生かす

- ①自分の生活を豊かにすることをアピールすること。
- ②ブランディング、プロモーションのあり方を考える。
- ③歴史文化、喫茶文化を売る
- ④関東への知名度アップ
- ⑤宇治エリアだけでなく、日本人全体に関係があることを考える

- ①自分の生活を豊かにすることをアピールすること。【再掲】
- ②「茶ムリエ」の称号や操れる場の提供
- ③比較で飲む感動を与える
- ④アクセスの改善、入りやすいお茶屋さんづくり
- ⑤山城でないと体験(今、ここ、貴方しか)できない仕掛け

戦略のテーマ(案)

キーワード

生業の継続による
景観の維持

- ・後継者の育成
- ・技術の保全・継承
- ・他県にない茶種(品種)の
特性の維持

わかりやすい・個
性の発信

- ・効果的なプロモーション
- ・いろんな茶種でTPOにあっ
たおもてなし

感動・共感の場の
提供

- ・呼び込む仕掛け

これらを実現するた
めには何をすればよいか。

取組内容をアイデア出し